

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

特許第4143041号
(P4143041)

(45) 発行日 平成20年9月3日(2008.9.3)

(24) 登録日 平成20年6月20日(2008.6.20)

| | |
|----------------|---------------|
| (51) Int.Cl. | F 1 |
| A 6 1 F 13/72 | (2006.01) |
| A 6 1 F 13/496 | (2006.01) |
| A 6 1 F 13/15 | (2006.01) |
| A 6 1 F 13/49 | (2006.01) |
| A 6 1 F 13/511 | (2006.01) |
| | A 4 1 B 13/08 |
| | A 4 1 B 13/02 |
| | B |
| | U |
| | R |
| | E |
| | G |

請求項の数 6 (全 18 頁)

| | |
|-----------|-------------------------------|
| (21) 出願番号 | 特願2004-127949 (P2004-127949) |
| (22) 出願日 | 平成16年4月23日 (2004.4.23) |
| (65) 公開番号 | 特開2005-304899 (P2005-304899A) |
| (43) 公開日 | 平成17年11月4日 (2005.11.4) |
| 審査請求日 | 平成19年3月26日 (2007.3.26) |

| | |
|-----------|--|
| (73) 特許権者 | 000115108 ユニ・チャーム株式会社 愛媛県四国中央市金生町下分182番地 |
| (74) 代理人 | 100066267 弁理士 白浜 吉治 |
| (72) 発明者 | 渡部 真紀 香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀1531 -7 ユニ・チャーム株式会社テクニカル センター内 |
| (72) 発明者 | 和田 一郎 香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀1531 -7 ユニ・チャーム株式会社テクニカル センター内 |

審査官 中尾 奈穂子

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】着用物品

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

互いに対向する前後胴周り域およびそれら胴周り域の間に位置する股下域を有するとともに胴周り開口および一対の脚周り開口を有するパンツと、前後方向に前後域およびそれら域の間に位置する中間域を有して前記パンツの内側に着脱可能に取り付けられる使い捨ての排泄物収容パッドとから構成され、前記パッドの上面を貫通する第1開口が該パッドの前域と中間域とのうちの少なくとも該中間域に形成され、前記第1開口を通過した排泄物が前記パッドの内部に収容される着用物品において、

前記パンツが、その内側に配置されて前記前後胴周り域間に延びる帯状の第1連結シートを備え、前記第1連結シートが、前記前後胴周り域の周縁部に固着された固定両端部と、前記固定両端部間に位置する自由中間部とを有し、前記パッドの後域を挿入可能な插入口が、前記第1連結シートの自由中間部の横方向中央に形成され、

前記パッドが、前記第1開口につながる第2開口が形成されて該パッドの上面に取り付けられた第2連結シートを備え、前記第2連結シートが、前記第1開口を画成する開口周縁部に固着された固定内周縁部と、前記パッドの前域から前方へ延出して前記第1連結シートに止着手段を介して着脱可能な自由前部とを有し、

前記着用物品では、前記パッドの前域と中間域とを前記第1連結シートの上面に位置させるとともに、前記パッドの後域を前記插入口に挿入して前記パンツと前記第1連結シートとの間に介在させ、前記第2連結シートの自由前部を前記止着手段を介して前記第1連結シートの上面に止着することで、前記パッドが前記第1連結シートを介して前記パンツ

10

20

に取り付けられることを特徴とする前記着用物品。

【請求項 2】

前記第2連結シートが、前記パッドの後域に位置して前記第1連結シートに止着手段を介して着脱可能な自由後部を有し、前記着用物品では、前記第2連結シートの自由前部と自由後部とを前記止着手段を介して前記第1連結シートの上面に止着することで、前記パッドが前記第1連結シートを介して前記パンツに取り付けられる請求項1記載の着用物品。

【請求項 3】

前記パッドが、肌当接側に位置して前記第1開口が形成された不透液性上部シートと、肌非当接側に位置する不透液性下部シートと、前記上下部シートの間に介在して該下部シートに接合された吸液性コアとから形成され、前記第2連結シートが、前記上部シートの上面に取り付けられ、前記排泄物を収容する空間が、前記上部シートと前記下部シートとの間に形成されている請求項1または請求項2に記載の着用物品。

【請求項 4】

前記パッドの後域が、該パッドの後方に向かって横方向へ末広がりの袋状を呈し、前記後域の排泄物収容容積が、前記パッドの前域と中間域とのそれよりも大きい請求項1ないし請求項3いずれかに記載の着用物品。

【請求項 5】

前記第1連結シートが、弾性的な伸縮性を有し、前記第1連結シートの自由中間部が、前記パンツの股下域から上方へ離間している請求項1ないし請求項4いずれかに記載の着用物品。

【請求項 6】

前記止着手段が、前記第2連結シートの自由前後部の下面に取り付けられたフック部材、または、前記第2連結シートの自由前後部の下面に塗布された感圧型接着剤である請求項1ないし請求項5いずれかに記載の着用物品。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、パンツと、パンツに着脱可能に取り付けられる使い捨ての排泄物収容パッドとから構成された着用物品に関する。

【背景技術】

【0002】

互いに対向する前胴周り域および後胴周り域とそれら胴周り域の間に位置する股下域とを有するとともに胴周り開口および一対の脚周り開口を有するパンツと、パンツの内側に取り付けられて前後胴周り域間に延びる吸液性パッドとから構成された使い捨て着用物品がある（特許文献1参照）。パッドは、肌当接側に位置する透液性表面シートと、肌非当接側に位置する不透液性裏面シートと、表裏面シートの間に介在してそれらシートに接合された吸液性コアとから形成されている。パッドでは、コアの両端縁から延出する裏面シートの両端部がパンツの前後胴周り域の周縁部に固着され、裏面シートの縦方向中央部がパンツの股下域に固着されている。この着用物品では、排泄物が表面シートを透過してコアに吸収、保持される。

【0003】

また、透液性表面シートおよび不透液性裏面シートとそれらシートの間に介在する吸液性コアとから排泄物を収容する吸収部が形成され、吸収部の周縁から上方へ延びる表裏面シートが吸収部の上面を覆うカバーシート部分を形成し、カバーシート部分に囲繞された開口が吸収部の中央に形成された縦長の排泄物処理パッドがある（特許文献2参照）。カバーシート部分の頂部には、環状に延びる伸縮性弹性部材が収縮可能に取り付けられている。パッドは、裏面シートの下面に塗布された感圧型接着剤を介しておむつカバーの股下域の内側に着脱可能に取り付けられ、おむつカバーとともに着用される。このパッドでは、排泄物が開口を通過して吸収部に収容される。排泄物で汚れたパッドは、カバーから取

10

20

30

40

50

り外された後、廃棄される。

【特許文献1】特開平9-56746号公報

【特許文献2】特開平12-42033号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

特許文献1に開示の着用物品では、パッドがパンツに固定されているので、パッドが排泄物で汚れたときに、パッドのみを交換することができず、物品自体を取り替えなければならない。また、この物品は、パッドの内部に排泄物を収容する空間が形成されておらず、多量の排泄物が排泄されると、パッドが排泄物を吸収しきれず、排泄物がパッドから漏れてしまう場合がある。10

【0005】

特許文献2に開示のパッドでは、それがおむつカバーの股下域に取り付けられるので、カバーが着用位置からずれ下がると、それにともなってパッドがずれ下がり、着用者の肌に対するパッドの当接状態を維持することができず、排泄物がパッドの外側に排泄されてしまう場合がある。

【0006】

本発明の目的は、多量の排泄物を収容することが可能なパッドを有し、着用者の肌に対するパッドの当接状態を維持することができ、排泄物を収容したパッドのみを交換することができる着用物品を提供することにある。20

【課題を解決するための手段】

【0007】

前記課題を解決するための本発明の前提は、互いに対向する前後胴周り域およびそれら胴周り域の間に位置する股下域を有するとともに胴周り開口および一対の脚周り開口を有するパンツと、前後方向に前後域およびそれら域の間に位置する中間域を有してパンツの内側に着脱可能に取り付けられる使い捨ての排泄物収容パッドとから構成され、パッドの上面を貫通する第1開口が該パッドの前域と中間域とのうちの少なくとも該中間域に形成され、第1開口を通過した排泄物がパッドの内部に収容される着用物品である。

【0008】

前記前提における本発明の特徴は、パンツがその内側に配置されて前後胴周り域間に延びる帯状の第1連結シートを備え、第1連結シートが、前記前後胴周り域の周縁部に固着された固定両端部と、固定両端部間に位置する自由中間部とを有し、パッドの後域を挿入可能な挿入口が第1連結シートの自由中間部の横方向中央に形成され、パッドが第1開口につながる第2開口が形成されて該パッドの上面に取り付けられた第2連結シートを備え、第2連結シートが、第1開口を画成する開口周縁部に固着された固定内周縁部と、パッドの前域から前方へ延出して第1連結シートに止着手段を介して着脱可能な自由前部とを有することにある。本発明では、パッドの前域と中間域とを第1連結シートの上面に位置させるとともに、第1連結シートに形成された挿入口にパッドの後域を挿入して後域をパンツと第1連結シートとの間に介在させ、第2連結シートの自由前部を止着手段を介して第1連結シートの上面に止着することで、パッドが第1連結シートを介してパンツに取り付けられる。30

【0009】

本発明は、以下の実施態様を有する。

(1) 本発明の実施態様の一例は、第2連結シートが、パッドの後域に位置して第1連結シートに止着手段を介して着脱可能な自由後部を有する。この実施態様における発明では、パッドの前域と中間域とを第1連結シートの上面に位置させるとともに、第1連結シートに形成された挿入口にパッドの後域を挿入して後域をパンツと第1連結シートとの間に介在させ、第2連結シートの自由前部と自由後部とを止着手段を介して第1連結シートの上面に止着することで、パッドが第1連結シートを介してパンツに取り付けられる。40

(2) 本発明の実施態様の他の一例は、パッドが、第1開口を有する不透液性上部シート

50

と、上部シートの下方に位置する不透液性下部シートと、上下部シートの間に介在して該下部シートに接合された吸液性コアとから形成され、排泄物を収容する空間が上部シートと下部シートとの間に形成されている。

(3) 本発明の実施態様の他の一例は、パッドの後域が該パッドの後方に向かって横方向へ未広がりの袋状を呈し、後域の排泄物収容容積が前域と中間域とのそれよりも大きい。

(4) 本発明の実施態様の他の一例は、第1連結シートが弹性的な伸縮性を有し、第1連結シートの自由中間部がパンツの股下域から上方へ離間している。

(5) 本発明の実施態様の他の一例は、止着手段が第2連結シートの自由前後部の下面に取り付けられたフック部材または第2連結シートの自由前後部の下面に塗布された感圧型接着剤である。

10

【発明の効果】

【0010】

本発明に係る着用物品によれば、第2連結シートの自由前部を第1連結シートの上面に止着し、第1連結シートを介して排泄物収容パッドをパンツに取り付けたときに、パッドの前域と中間域とが第1連結シートの上面に位置して第1連結シートに固定されるので、パッドがパンツ自身に取り付けられる場合と比較し、パンツの動きが直接パッドに伝わることなく、パンツが着用者の動作で動いたとしても、パッドがそれに追従して動くことはない。物品では、パンツが着用位置からずれ下がったとしても、それによってパッドがずれ下がることはなく、着用者の肌に対するパッドの当接状態を維持することができ、排泄物がパッドの外側に排泄されてしまうことはない。この物品は、パッドの後域がパンツと第1連結シートとの間に位置するので、物品に着用者の体圧がかかったとしても、パッドの後域が潰れ難く、パッドの後域に収容された排泄物が第1開口から漏れ出してしまわない。物品は、排泄物を収容したパッドをパンツから取り外して廃棄することができ、パッドのみを交換することができるので、パンツを繰り返し使用することができる。

20

【0011】

第2連結シートがパッドの後域に位置して第1連結シートに止着手段を介して着脱可能な自由後部を有する物品は、パッドをパンツに取り付けるときに、第2連結シートの自由前部とともに自由後部が第1連結シートの上面に止着されるので、パッドを第1連結シートに確実に固定することができる。

30

パッドが不透液性上部シートおよび不透液性下部シートとそれらシートの間に介在する吸液性コアとから形成され、コアが下部シートに接合された着用物品は、空間に収容された排泄物をコアに吸収、保持させることができ、排泄物のパッドの外側への漏れを確実に防ぐことができる。

【0012】

パッドの後域が前後方向後方に向かって横方向へ未広がりの袋状を呈し、後域の排泄物収容容積がパッドの前域と中間域とのそれよりも大きい着用物品は、物品の着用中に多量の排泄物が排泄されたとしても、排泄物のすべてをパッドの後域に収容することができる。

【0013】

第1連結シートが弹性的な伸縮性を有し、第1連結シートの自由中間部がパンツの股下域から上方へ離間している着用物品は、パンツの脛周り開口が広げられることにともなって第1連結シートが前後方向へ延ばされ、第1連結シートがその収縮力でパッドを着用者の肌に押し付けるので、着用者の肌に対するパッドの当接状態を確実に維持することができる。この物品は、第1連結シートの自由中間部がパンツの股下域から上方へ離間しているので、パンツと第1連結シートの自由中間部との間に介在するパッドの後域が第1連結シートによって潰されることなく、パッドの後域に収容された排泄物の第1開口からの漏れを確実に防ぐことができる。

40

【発明を実施するための最良の形態】

【0015】

50

添付の図面を参照し、本発明に係る着用物品の詳細を説明すると、以下のとおりである。

【0016】

図1，2は、パンツ21を破断した状態で示す着用物品20Aの斜視図と、パンツ21の部分破断斜視図である。図1では、第2連結シート47が第1連結シート35に止着され、排泄物収容パッド22が連結シート35を介してパンツ21に取り付けられている。図2では、パンツ21からパッド22が取り外されている。図1では、横方向を矢印L、縦方向を矢印Mで示し、前後方向を矢印Nで示す。物品20Aは、パンツ21と、パンツ21の内側に着脱可能に取り付けられる排泄物収容パッド22とから構成されている。

【0017】

パンツ21は、疎水性纖維不織布から作られている。パンツ21は、互いに対向する前脛周り域23および後脛周り域25と、それら脛周り域23，25の間に位置する股下域24とを有する。パンツ21では、前後脛周り域23，25の側部26，27が重なり合い、それら脛周り域23，25の側部26，27が間欠的に並ぶ多数の熱融着部28を介して固着されている。パンツ21には、脛周り開口29と一対の脚周り開口30とが形成されている。

【0018】

脛周り開口29を画成するパンツ21の脛周り周縁部31には、環状に延びる複数条の脛周り用弹性部材32が収縮可能に取り付けられている。脚周り開口30を画成するパンツ21の脚周り周縁部33には、環状に延びる複数条の脚周り用弹性部材34が収縮可能に取り付けられている。それら弹性部材32，34は、接着剤（図示せず）を介してパンツ21に固着されている。パンツ21の内側には、前後脛周り域23，25間に位置して前後方向へ延びる帯状の第1連結シート35が配置されている。

【0019】

第1連結シート35は、弹性的な伸縮性を有する疎水性纖維不織布から作られている。連結シート35は、パンツ21の前後脛周り域23，25から股下域24に向かって縦方向下方へ弧を画いて延びている。連結シート35は、前後脛周り域23，25の周縁部31に固着された固定両端部36と、固定両端部36間に位置する自由中間部37とを有する。自由中間部37は、パンツ21に固着されておらず、パンツ21の股下域24から上方に離間している。自由中間部37の横方向中央には、自由中間部37の横方向両側をわずかに残して連結シート35を裁断したスリット38（挿入口）が形成されている。スリット38は、パンツ21の股下域24の前後方向中央に形成されて横方向へ延びている。

【0020】

図3，4は、前域42の側から示す排泄物収容パッド22の部分破断斜視図と、後域44の側から示すパッド22の部分破断斜視図であり、図5は、パッド22から第2連結シート47と台紙49とを分離した状態で示す分解斜視図である。図6，7は、図3の6-6線矢視断面図と、図3の7-7線矢視断面図である。図3，4では、横方向を矢印L、前後方向を矢印Mで示し、厚み方向を矢印Nで示す。なお、上部シート39や下部シート40、台紙49の上面とは、着用者の肌に対向する面をいい、それらの下面とは、着用者の肌に非対向の面をいう。

【0021】

パッド22は、肌当接側に位置する不透液性上部シート39と、肌非当接側に位置する不透液性下部シート40と、それらシート39，40の間に介在する吸液性コア41とから形成されている。パッド22は、前後方向に前域42および後域44と、前後域42，44の間に位置する中間域43とを有する。パッド22の前域42と中間域43における横方向中央には、上部シート39を貫通する前後方向へ長い第1開口45が形成されている。パッド22では、上部シート39と下部シート40とがパッド22の厚み方向へ対向し、それらシート39，40の間に開口45を通過した排泄物を収容可能な空間46が形成されている。

【0022】

10

20

30

40

50

上部シート39の上面(パッド22の上面)には、前後方向へ延びる第2連結シート47が取り付けられている。開口45を画成する上部シート39の開口周縁部48には、上下部シート39, 40よりも高い剛性を有する台紙49が取り付けられている。パッド22では、後域44の面積が前域42と中間域43とのそれよりも大きく、後域44がパッド22の前後方向後方に向かって横方向へ末広がりの袋状を呈する。後域44の排泄物収容容積は、前域42と中間域43とのそれよりも大きい。

【0023】

上部シート39と下部シート40とは、疎水性纖維不織布50と通気不透液性プラスチックフィルム51とをラミネートした複合シートから形成されている。ゆえに、上下部シート39, 40の剛性は、台紙49のそれよりも低い。上部シート39と下部シート40とは、コア41の周縁から周方向外方へ延びる周縁部52が互いに重なり合った状態で水密に固着されている。

【0024】

コア41は、パッド22の前後域42, 44と中間域43とに配置され、下部シート40の下面に接合されている。コア41は、粒子状や纖維状の高吸収性ポリマーとフラッフパルプとの混合物、または、粒子状や纖維状の高吸収性ポリマーとフラッフパルプと熱可塑性合成樹脂纖維との混合物であり、所定の厚みに圧縮されている。コア41は、その型崩れを防止するため、全体がティッシュペーパーや親水性纖維不織布等の透液性シート53に包被されている。

【0025】

第2連結シート47は、ウレタンフォームから作られている。第2連結シート47には、それを貫通する前後方向へ長い第2開口54が形成されている。開口54は、第1開口45と同形同大であり、開口45につながっている。第2連結シート47は、上部シート39の開口45を画成する開口周縁部48の上面に固着された固定内周縁部55と、パッド22の前域42から前後方向前方へ延出する自由前部56と、パッド22の後域44に位置する自由後部57とを有する。自由前部56と自由後部57とは、上部シート39に固着されていない。自由前部56の下面には、横方向へ離間して並ぶ円形のフック部材58(止着手段)が固着されている。自由後部57の下面には、横方向へ離間して並ぶ円形のフック部材59(止着手段)が固着されている。

【0026】

台紙49は、開口周縁部48に沿って開口45を囲繞するように環状に延びている。台紙49は、開口45の側に位置する内周縁60と、内周縁60の反対側に位置する外周縁61とを有する。台紙49は、その上面が上部シート39の下面に固着されている。台紙49は、一対の第1折曲線62と一対の第2折曲線63とを介して折曲され、一対の第3折曲線64と一対の第4折曲線65とを介して折曲されている。

【0027】

第1折曲線62は、開口周縁部48の前後方向前方に位置し、台紙49の内外周縁60, 61間に延びている。第1折曲線62は、横方向へ離間対向し、互いの離間寸法が台紙49の内周縁60から外周縁61に向かうにつれて次第に広がっている。第2折曲線63は、開口周縁部48の前後方向後方に位置し、台紙49の内外周縁60, 61間に延びている。第2折曲線63は、横方向へ離間対向し、互いの離間寸法が台紙49の内周縁60から外周縁61に向かうにつれて次第に広がっている。台紙49は、第1折曲線62と第2折曲線63とにおいて開口周縁部48の周方向外方へ凸となるように(山折り)折り曲げられている。

【0028】

第3折曲線64は、第1折曲線62の間に位置し、台紙49の内周縁60において第1折曲線62から分岐して台紙49の外周縁61に達している。第3折曲線64は、横方向へ離間対向し、台紙49の内周縁60から外周縁61に向かうにつれて第1折曲線62から次第に離間している。第4折曲線65は、第2折曲線63の間に位置し、台紙49の内周縁60において第2折曲線63から分岐して台紙49の外周縁61に達している。第4

10

20

30

40

50

折曲線 6 5 は、横方向へ離間対向し、台紙 4 9 の内周縁 6 0 から外周縁 6 1 に向かうにつれて第 2 折曲線 6 3 から次第に離間している。台紙 4 9 は、第 3 折曲線 6 4 と第 4 折曲線 6 5 とにおいて開口周縁部 4 8 の周方向内方へ凸となるように（谷折り）折り曲げられている。

【 0 0 2 9 】

台紙 4 9 は、開口周縁部 4 8 の前後方向前方に位置して第 1 折曲線 6 2 間に延びる前壁 6 6 と、開口周縁部 4 8 の前後方向後方に位置して第 2 折曲線 6 3 間に延びる後壁 6 7 と、前後壁 6 6 , 6 7 に連なって第 1 および第 2 折曲線 6 2 , 6 3 間に延びる両側壁 6 8 とに区画されている。台紙 4 9 では、両側壁 6 8 が後壁 6 7 から前壁 6 6 に向かって先細りを呈し、後壁 6 7 の面積が前壁 6 6 のそれよりも大きい。前壁 6 6 は、第 3 折曲線 6 4 の間に延びていて開口周縁部 4 8 の前後方向後方へ向かって凹む台形状の中央部 6 9 と、第 1 および第 3 折曲線 6 2 , 6 4 の間に延びていて両側壁 6 8 と対向する三角形状の両側部 7 0 とに区画されている。後壁 6 7 は、第 4 折曲線 6 5 の間に延びていて開口周縁部 4 8 の前後方向前方へ向かって凹む台形状の中央部 7 1 と、第 2 および第 4 折曲線 6 3 , 6 5 の間に延びていて両側壁 6 7 と対向する三角形状の両側部 7 2 とに区画されている。10

【 0 0 3 0 】

台紙 4 9 の両側壁 6 7 の外周縁 6 1 には、透水性シート 7 3 が横方向へ伸長下に取り付けられている。透水性シート 7 3 は、開口 4 5 の直下における空間 4 6 に位置し、両側壁 6 7 の外周縁 6 1 に固着された固定両側部 7 4 と、固定両側部 7 4 間に延びる自由部 7 5 とを有する。透水性シート 7 3 には、前後方向に所定寸法離間して横方向へ延びる複数条の伸縮性弹性部材 7 6 が収縮可能に取り付けられている。弹性部材 7 6 は、横方向へ所定の倍率に伸長させた状態でシート 7 3 に固着されている。台紙 4 9 の両側壁 6 8 は、弹性部材 7 6 の収縮力によってパッド 2 2 の横方向内方へ引き寄せられている。台紙 4 9 は、互いに対向する前後壁 6 6 , 6 7 が開口 4 5 から下部シート 4 0 に向かって末広がりに傾斜し、互いに対向する両側壁 6 8 が開口 4 5 から下部シート 4 0 に向かって末広がりに傾斜している。台紙 4 9 は、開口 4 5 を頂として下部シート 4 0 の上方へ凸となる立体的な形状を呈する。20

【 0 0 3 1 】

開口周縁部 4 8 は、台紙 4 9 の前壁 6 6 に延びる前部分 7 7 と、両側壁 6 8 に延びる両側部分 7 8 と、後壁 6 7 に延びる後部分 7 9 とに区画されている。開口周縁部 4 8 では、両側部分 7 8 が後部分 7 9 から前部分 7 7 に向かって先細りを呈し、後部分 7 9 の面積が前部分 7 7 のそれよりも大きい。前部分 7 7 は、前壁 6 6 の中央部 6 9 に延びる中央部位と、前壁 6 6 の両側部 7 0 に延びる両側部位とに区画されている。後部分 7 9 は、後壁 6 7 の中央部 7 1 に延びる中央部位と、後壁 6 7 の両側部 7 2 に延びる両側部位とに区画されている。開口周縁部 4 8 は、台紙 4 9 の前後壁 6 6 , 6 7 の傾斜にともなって互いに対向する前後部分 7 7 , 7 9 が開口 4 5 から下部シート 4 0 に向かって末広がりに傾斜し、台紙 4 9 の両側壁 6 8 の傾斜にともなって互いに対向する両側部分 7 8 が開口 4 5 から下部シート 4 0 に向かって末広がりに傾斜している。開口周縁部 4 8 は、台紙 4 9 の前後壁 6 6 , 6 7 と両側壁 6 8 とに適従して下部シート 4 0 の上方へ凸となる立体的な形状に変形している。30

【 0 0 3 2 】

図 8 , 9 は、図 1 の 8 - 8 線矢視断面図と、図 8 の拡大図である。なお、図 8 では、パッド 2 2 を二点鎖線の概略図で示している。第 1 連結シート 3 5 にパッド 2 2 を取り付けるには、パッド 2 2 の前域 4 2 と中間域 4 3 とを第 1 連結シート 3 5 の上面に配置し、パッド 2 2 の後域 4 4 をスリット 3 8 からパンツ 2 1 の後胴周り域 2 5 の側に向かって挿入し、後域 4 4 をパンツ 2 1 と第 1 連結シート 3 5 との間に介在させる。次に、フック部材 5 8 を介して第 2 連結シート 4 7 の自由前後部 5 6 , 5 7 の下面を第 1 連結シート 3 5 の上面に止着する。パッド 2 2 の前域 4 2 と中間域 4 3 とは、第 1 連結シート 3 5 に固定される。パッド 2 2 の後部 4 4 は、第 1 連結シート 3 5 に固定されることなく、パンツ 2 1 と第 1 連結シート 3 5 との間に位置する。前域 4 2 と中間域 4 3 とはパンツ 2 1 の股下4050

域 2 4 の略前半分に位置し、後域 4 4 はパンツ 2 1 の股下域 2 4 の略後半分に位置する。物品 2 0 A の着用中に排泄された尿は、開口 4 5 , 5 4 を通過してパッド 2 2 の空間 4 6 に収容されるとともに、コア 4 1 に吸収、保持される。

【 0 0 3 3 】

物品 2 0 A は、第 1 連結シート 3 5 を介して排泄物収容パッド 2 2 をパンツ 2 1 に取り付けたときに、パッド 2 2 の前域 4 2 と中間域 4 3 とが第 1 連結シート 3 5 の上面に位置して第 1 連結シート 3 5 に固定されるので、パンツ 2 1 の動きが直接パッド 2 2 に伝わることはなく、パンツ 2 1 が着用者の動作で動いたとしても、パッド 2 2 がそれに追従して動くことはない。物品 2 0 A では、パンツ 2 1 が着用位置からずれ下がったとしても、それによってパッド 2 2 がずれ下がることはなく、着用者の肌に対するパッド 2 2 の当接状態を維持することができ、尿がパッド 2 2 の外側に排泄されてしまうことはない。物品 2 0 A は、パッド 2 2 の後域 4 4 がパンツ 2 1 と第 1 連結シート 3 5 との間に位置するので、物品 2 0 A に着用者の体圧がかかったとしても、パッド 2 2 の後域 4 4 が潰れ難く、後域 4 4 に収容された尿が開口 4 5 から漏れ出してしまうことがない。物品 2 0 A は、尿を収容したパッド 2 2 をパンツ 2 1 から取り外して廃棄することができ、パッド 2 2 のみを交換することができるので、パンツ 2 1 を繰り返し使用することができる。10

【 0 0 3 4 】

物品 2 0 A は、パッド 2 2 の後域 4 4 が前後方向後方に向かって横方向へ未広がりの袋状を呈し、後域 4 4 の排泄物収容容積がパッド 2 2 の前域 4 2 と中間域 4 3 とのそれよりも大きいので、物品 2 0 A の着用中に多量の尿が排泄されたとしても、尿のすべてを後域 4 4 に収容することができる。また、パッド 2 2 に収容された尿がコア 4 1 に吸収、保持されるので、空間 4 6 に収容された尿の開口 4 5 からの漏れを確実に防ぐことができる。20

【 0 0 3 5 】

物品 2 0 A は、第 1 連結シート 3 5 が弾性的な伸縮性を有するので、パンツ 2 1 の胴周り開口 2 9 が着用者の胴部によって広げられることにともなって第 1 連結シート 3 5 が前後方向へ延ばされ、第 1 連結シート 3 5 がその収縮力でパッド 2 2 を着用者の肌に押し付ける。ゆえに、物品 2 0 A は、着用者の肌に対するパッド 2 2 の当接状態を確実に維持することができる。また、第 1 連結シート 3 5 の自由中間部 3 7 がパンツ 2 1 の股下域 2 4 から上方へ離間しているので、パンツ 2 1 と第 1 連結シート 3 5 の自由中間部 3 7 との間に介在するパッド 2 2 の後域 4 4 が第 1 連結シート 3 5 によって潰されることなく、後域 4 4 に収容された尿の開口 4 5 からの漏れを確実に防ぐことができる。30

【 0 0 3 6 】

物品 2 0 A では、下部シート 4 0 の上方へ凸となる上部シート 3 9 の開口周縁部 4 8 の前後部分 7 7 , 7 8 と両側部分 7 9 とが尿に対する障壁を形成するので、尿が開口周縁部 4 8 を乗り越えることはなく、空間 4 6 に収容された尿が開口 4 5 からパッド 2 2 の外側に漏れることはない。物品 2 0 A は、上部シート 3 9 の開口周縁部 4 8 に取り付けられた台紙 4 9 が上下部シート 3 9 , 4 0 よりも高い剛性を有するので、パッド 2 2 の厚み方向へわずかな圧がかかったとしても、台紙 4 9 の剛性によって開口周縁部 4 8 の立体的な形状が保持され、開口周縁部 4 8 が容易に潰れることはなく、開口周縁部 4 8 が尿に対する障壁としての機能を失うことはない。40

【 0 0 3 7 】

物品 2 0 A は、第 1 および第 3 折曲線 6 2 , 6 4 の間に延びる台紙 4 9 の前壁 6 6 の両側部 7 0 が両側壁 6 8 とともにパッド 2 2 の厚み方向へかかる圧に対する支えとなり、第 2 および第 4 折曲線 6 3 , 6 5 の間に延びる台紙 4 9 の後壁 6 7 の両側部 7 2 が両側壁 6 8 とともにパッド 2 2 の厚み方向へかかる圧に対する支えとなるので、パッド 2 2 の厚み方向にかかる圧に対する台紙 4 9 の座屈強度が向上し、パッド 2 2 の厚み方向へ多少の圧がかかったとしても、開口周縁部 4 8 が潰れることはなく、台紙 4 9 によって開口周縁部 4 8 の立体的な形状を確実に保持することができる。

【 0 0 3 8 】

物品 2 0 A では、弾性部材 7 6 の収縮力によって台紙 4 9 の両側壁 6 8 どうしがパッド50

22の横方向内方へ引き寄せられるので、台紙49の立体的な形状を確実に維持することができ、台紙49と弾性部材76とによって下部シート40の上方へ凸となる開口周縁部48の立体的な形状を確実に保持することができる。物品20Aは、パッド22の厚み方向へ大きな圧がかかり、開口周縁部48が潰れて台紙49が扁平になったとしても、圧が解除されると弾性部材76の収縮力によって台紙49が直ちに立体的な形状に復元し、それによって開口周縁部48が下部シート40の上方へ凸となる立体的な形状に復元する。物品20Aは、台紙49の両側壁68が後壁67から前壁66に向かって先細りを呈し、後壁67の面積が前壁66のそれよりも大きいので、台紙49の前壁66と両側壁68とが着用者の股間部に納まり、開口周縁部48が股間部において嵩張ることはない。

【0039】

10

台紙49の剛性値は、2～40mN・mの範囲にある。台紙49の剛性値が2mN・m未満では、パッド22の厚み方向へ圧がかかったときに、台紙49が容易に潰れ、開口周縁部48を下部シート40の上方へ凸となる立体的な形状に保持することができない。台紙49の剛性値が40mN・mを超過すると、物品20Aの着用中に着用者の肌に当接する開口周縁部48が着用者に不快な刺激を与える。なお、台紙49の剛性値は、テーバー法(JIS P 8125)に準拠して測定した。その測定方法は、以下のとおりである。

【0040】

20

(1) パッド22に使用した台紙49と同一のそれを裁断し、縦寸法50mm×横寸法25mmの測定用サンプルを作成した。剛性値の測定には、(株)安田精機製作所製のテバースティフネステスターを使用し、サンプルの縦方向と横方向との剛性値を測定した。

(2) 次に、測定の手順を説明する。(a)サンプルの厚み(A)を測定する。(b)サンプルを試験機のチャック(下側)の中心に触れる程度に挟み込む。(c)支持ローラとサンプルとの左右隙間の合計を(A)×0.80(mm)に調節する。(d)補助おもり1/2を上にかぶせる。(e)サンプルを左右両方向に回転させ、15度支持刻線と振り子の中心刻とが一致した点で停止し、試験機の目盛りを読み取る。目盛りの左側の数値を(B)とし、目盛りの右側の数値を(C)とする。

(3) サンプルの剛性値は、式：剛性値(N・cm) = ((B)+(C))/2 × (補助おもり係数)/1000×9.807で算出した。算出したサンプルの縦横方向の剛性値は、2～40mN・mであり、サンプルの剛性値を台紙49の剛性値とした。

【0041】

30

透水性シート73に取り付けられた弾性部材76の伸長応力は、0.01～1.5Nの範囲にある。弾性部材76の伸長応力は、弾性部材1本の伸長応力である。弾性部材76の伸長応力が0.01N未満では、弾性部材76の収縮力によって台紙49の両側壁68どうしをパッド22の横方向へ十分に引き寄せることができず、パッド22の厚み方向へかかる圧が解除されたときに、台紙49が立体的な形状に復元しない場合があり、開口周縁部48が下部シート40の上方へ凸となる立体的な形状に復元しない場合がある。弾性部材76の伸長応力が1.5Nを超過すると、弾性部材76の収縮力によってパッド22の横方向へ引き寄せられた台紙49の両側壁68どうしが互いに当接し、開口45がその口を閉じてしまう場合がある。なお、弾性部材76の伸長応力は、以下の方法で測定した。

【0042】

40

(1) 透水性シート73に取り付けた弾性部材76と同一のそれを測定用サンプル(1本)として用意した。伸長応力の測定には、島津製作所社製の引張り試験機を使用した。

(2) 次に、測定の手順を説明する。サンプルの縦方向両端部を引張り試験機のチャックで挟み(チャックによるサンプルの挟み寸法：約10mm、サンプルのチャック間寸法：約100mm)、100mm/minの速度でサンプルを縦方向へ引っ張り、サンプルを300%まで伸長させた後、伸長状態を解除する。再度、試験機を介して100mm/minの速度でサンプルを縦方向へ引っ張り、サンプルを200%まで伸長させ、そのときの試験機にかかる力を測定した。ここで、サンプルを200%まで伸長させるとは、たとえば、サンプルのチャック間寸法が100mmの場合、サンプルを100mmに2.0を

50

乗じた値である約200mmまで伸ばすことである。サンプルの伸長応力は0.01~1.5Nであり、サンプルの伸長応力を弾性部材76の1本の伸長応力とした。

【0043】

図10, 11は、パンツ21を破断した状態で示す他の一例の着用物品20Bの斜視図と、前域42の側から示す他の一例の排泄物収容パッド22の部分破断斜視図とであり、図12, 13は、後域44の側から示すパッド22の部分破断斜視図と、パッド22から第2連結シート47を分離した状態で示す分解斜視図とである。図10では、横方向を矢印L、縦方向を矢印Mで示し、前後方向を矢印Nで示す。図11, 12では、横方向を矢印L、前後方向を矢印Mで示し、厚み方向を矢印Nで示す。物品20Bは、パンツ21と、パンツ21の内側に着脱可能に取り付けられる排泄物収容パッド22とから構成されている。なお、パンツ21や第1連結シート35は、図1, 2のそれと同一であるので、図1, 2と同一の符合を付してその説明は省略する。
10

【0044】

パッド22は、肌当接側に位置する不透液性上部シート39と、肌非当接側に位置する不透液性下部シート40と、それらシート39, 40の間に介在する吸液性コア41とかから形成されている。パッド22は、前後方向に前域42および後域44と、前後域42, 44の間に位置する中間域43とを有する。パッド22の前域42と中間域43における横方向中央には、上面シート39を貫通する前後方向へ長い第1開口45が形成されている。パッド22では、上部シート39と下部シート40とがパッド22の厚み方向へ対向し、それらシート39, 40の間に開口45を通過した排泄物を収容可能な空間46が形成されている。
20

【0045】

上部シート39の上面（パッド22の上面）には、前後方向へ延びる第2連結シート47が取り付けられている。パッド22では、後域44の面積が前域42と中間域43とのそれよりも大きく、後域44がパッド22の前後方向後方に向かって横方向へ末広がりの袋状を呈する。後域44の排泄物収容容積は、前域42と中間域43とのそれよりも大きい。上部シート39と下部シート40とは、図1のそれと同一の複合シートから形成されている。上下部シート39, 40は、コア41の周縁から周方向外方へ延びる周縁部52が互いに重なり合った状態で水密に固着されている。コア41は、パッド22の前後域42, 44と中間域43とに配置され、下部シート40の上面に接合されている。コア41は、図1のそれと同一の混合物であり、全体がティッシュペーパーや親水性纖維不織布等の透液性シート53に包被されている。
30

【0046】

第2連結シート47には、それを貫通する前後方向へ長い第2開口54が形成されている。開口54は、第1開口45と同形同大であり、開口45につながっている。第2連結シート47は、上部シート39の開口45を画成する開口周縁部48の上面に固着された固定内周縁部55と、パッド22の前域42から前後方向前方へ延出する自由前部56と、パッド22の後域44に位置する自由後部57とを有する。自由前部56と自由後部57とは、上部シート39に固着されていない。自由前後部56, 57の下面には、横方向へ離間して並ぶ円形のフック部材58, 59（止着手段）が固着されている。
40

【0047】

図14, 15は、図10の14-14線矢視断面図と、図14の拡大図である。なお、図14では、パッド22を二点鎖線の概略図で示している。第1連結シート35にパッド22を取り付けるには、パッド22の前域42と中間域43とを第1連結シート35の上面に配置し、パッド22の後域44をスリット38からパンツ21の後臍周り域25の側に向かって挿入し、後域44をパンツ21と第1連結シート35との間に介在させる。次に、フック部材58, 59を介して第2連結シート47の自由前後部56, 57の下面を第1連結シート35の上面に止着する。パッド22の前域42と中間域43とは、第1連結シート35に固定される。パッド22の後部44は、第1連結シート35に固定されることなく、パンツ21と第1連結シート35との間に位置する。前域42と中間域43
50

とはパンツ 2 1 の股下域 2 4 の略前半分に位置し、後域 4 4 はパンツ 2 1 の股下域 2 4 の略後半分に位置する。物品 2 0 B の着用中に排泄された尿は、開口 4 5 を通過してパッド 2 2 の空間 4 6 に収容されるとともに、コア 4 1 に吸収、保持される。

【 0 0 4 8 】

物品 2 0 B は、第 1 連結シート 3 5 を介して排泄物収容パッド 2 2 をパンツ 2 1 に取り付けたときに、パッド 2 2 の前域 4 2 と中間域 4 3 とが第 1 連結シート 3 5 の上面に位置して第 1 連結シート 3 5 に固定されるので、パンツ 2 1 の動きが直接パッド 2 2 に伝わることはなく、パンツ 2 1 が着用者の動作で動いたとしても、パッド 2 2 がそれに追従して動くことはない。物品 2 0 B では、パンツ 2 1 が着用位置からずれ下がったとしても、それによってパッド 2 2 がずれ下がることはなく、着用者の肌に対するパッド 2 2 の当接状態を維持することができ、尿がパッド 2 2 の外側に排泄されてしまうことはない。物品 2 0 B は、パッド 2 2 の後域 4 4 がパンツ 2 1 と第 1 連結シート 3 5 との間に位置するので、物品 2 0 B に着用者の体圧がかかったとしても、パッド 2 2 の後域 4 4 が潰れ難く、後域 4 4 に収容された尿が開口 4 5 から漏れ出してしまうことがない。物品 2 0 B は、尿を収容したパッド 2 2 をパンツ 2 1 から取り外して廃棄することができ、パッド 2 2 のみを交換することができるので、パンツ 2 1 を繰り返し使用することができる。10

【 0 0 4 9 】

物品 2 0 B は、パッド 2 2 の後域 4 4 が前後方向後方に向かって横方向へ未広がりの袋状を呈し、後域 4 4 の排泄物収容容積がパッド 2 2 の前域 4 2 と中間域 4 3 とのそれよりも大きいので、物品 2 0 B の着用中に多量の尿が排泄されたとしても、尿のすべてを後域 4 4 に収容することができる。また、パッド 2 2 に収容された尿がコア 4 1 に吸収、保持されるので、空間 4 6 に収容された尿の開口 4 5 からの漏れを確実に防ぐことができる。20

【 0 0 5 0 】

物品 2 0 B は、第 1 連結シート 3 5 が弾性的な伸縮性を有するので、パンツ 2 1 の胴周り開口 2 9 が着用者の胴部によって広げられることにともなって第 1 連結シート 3 5 が前後方向へ延ばされ、第 1 連結シート 3 5 がその収縮力でパッド 2 2 を着用者の肌に押し付ける。ゆえに、物品 2 0 B は、着用者の肌に対するパッド 2 2 の当接状態を確実に維持することができる。また、第 1 連結シート 3 5 の自由中間部 3 7 がパンツ 2 1 の股下域 2 4 から上方へ離間しているので、パンツ 2 1 と第 1 連結シート 3 5 の自由中間部 3 7 との間に介在するパッド 2 2 の後域 4 4 が第 1 連結シート 3 5 によって潰されることなく、後域 4 4 に収容された尿の開口 4 5 からの漏れを確実に防ぐことができる。30

【 0 0 5 1 】

それら物品 2 0 A , 2 0 B では、図示はしていないが、第 1 連結シート 3 5 を介してパッド 2 2 をパンツ 2 1 に取り付けるときに、パッド 2 2 の前域 4 2 と中間域 4 3 とを第 1 連結シート 3 5 の上面に配置し、パッド 2 2 の後域 4 4 をスリット 3 8 からパンツ 2 1 の前胴周り域 2 3 の側に向かって挿入してもよい。この場合は、前域 4 2 と中間域 4 3 とがパンツ 2 1 の股下域 2 4 の略後半分に位置し、後域 4 4 がパンツ 2 1 の股下域 2 4 の略前半分に位置し、物品 2 0 A , 2 0 B の着用中に排泄された大便が開口 4 5 を通過してパッド 2 2 の空間 4 6 に収容されるとともに、コア 4 1 に吸収、保持される。

【 0 0 5 2 】

物品 2 0 A , 2 0 B では、図示はしていないが、第 2 連結シート 4 7 の自由後部 5 7 を省き、第 2 連結シート 4 7 が固定内周縁部 5 5 と自由前部 5 6 とから形成されていてもよい。この場合は、フック部材 5 8 (止着手段) を介して第 2 連結シート 4 7 の自由前部 5 6 の下面を第 1 連結シート 3 5 の上面に止着することで、パッド 2 2 が第 1 連結シート 3 5 を介してパンツ 2 1 に取り付けられる。40

【 0 0 5 3 】

物品 2 0 A , 2 0 B では、第 2 連結シート 4 7 の下面にフック部材 5 8 , 5 9 が取り付けられているが、フック部材 5 8 , 5 9 に代えて第 2 連結シート 4 7 の下面に感圧型接着剤を塗布することもできる。感圧型接着剤を塗布する場合は、接着剤が剥離紙に被覆保護されている必要がある。物品 2 0 A , 2 0 B では、第 1 連結シート 3 5 にスリット 3 8 が50

形成されているが、スリット38に代えて第1連結シート35に横方向へ長い橢円形の開口（挿入口）を形成することもできる。パンツ21は、不織布ではなく、織物や編物から作られていてもよい。第1開口45は、パッド22の前域42と中間域43とに形成されているが、それら域42, 43のうちの少なくとも中間域43に形成されればよい。

【0054】

物品20Aは、台紙49に取り付けられた透水性シート73が弹性的な伸縮性を有する纖維不織布から形成されていてもよい。透水性シート73が伸縮性の纖維不織布から形成される場合は、弹性部材76の取り付けを省くことができる。透水性シート73には、親水処理が施されていることが好ましい。また、物品20Aでは、台紙49に透水性シート73が取り付けられていなくてもよい。

10

【0055】

上部シート39と下部シート40とには、複合シートの他に、疎水性纖維不織布、通気不透液性プラスチックフィルム、2枚以上の疎水性纖維不織布をラミネートした複合不織布のいずれかを使用することもできる。第1連結シート35には、伸縮性纖維不織布の他に、非伸縮性かつ疎水性纖維不織布、通気不透液性プラスチックフィルム、非伸縮性かつ疎水性纖維不織布と通気不透液性プラスチックフィルムとをラミネートした複合シート、2枚以上の非伸縮性かつ疎水性纖維不織布をラミネートした複合不織布のいずれかを使用することもできる。第2連結シート47には、ウレタンフォームの他に、伸縮性かつ疎水性纖維不織布、非伸縮性かつ疎水性纖維不織布、通気不透液性プラスチックフィルム、非伸縮性かつ疎水性纖維不織布と通気不透液性プラスチックフィルムとをラミネートした複合シート、2枚以上の非伸縮性かつ疎水性纖維不織布をラミネートした複合不織布のいずれかを使用することもできる。上下部シート39, 40や第1および第2連結シート35, 47には、高い耐水性を有するメルトローン不織布の両面または片面に高い強度と良好な柔軟性とを有するスパンボンド不織布を重ね合わせた複合不織布（SM不織布、SMS不織布、SMMSS不織布）を使用することもできる。

20

【0056】

纖維不織布には、スパンレース、ニードルパンチ、メルトローン、サーマルボンド、スパンボンド、ケミカルボンドの各製法により製造された不織布を使用することができる。不織布の構成纖維には、ポリエステル系、ポリアクリロニトリル系、ポリ塩化ビニル系、ポリエチレン系、ポリプロピレン系、ポリスチレン系を使用することができる。構成纖維には、芯鞘型複合纖維、並列型複合纖維、異型中空纖維、微多孔纖維、接合型複合纖維を使用することもできる。

30

【0057】

第1連結シート35を形成する伸縮性纖維不織布には、メルトローンやスパンボンドの各製法により製造されたものを使用することができる。伸縮性纖維不織布の構成纖維には、熱可塑性エラストマー樹脂を溶融、紡糸した伸縮性纖維を使用することができる。第1連結シート35には、熱可塑性エラストマー樹脂纖維から形成された親水性かつ伸縮性纖維不織布の少なくとも片面に、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリエステルのいずれかの熱可塑性合成樹脂を溶融、紡糸した捲縮纖維から形成された親水性纖維不織布を重ね合わせた複合不織布を使用することもできる。

40

【0058】

台紙49には、バージン紙または古紙を使用することができる。バージン紙や古紙に特に限定はなく、アート紙、色板紙、コート紙、クラフト紙、グラシン紙、ケント紙、建材原紙、コットンペーパー、上質紙、中質紙、白板紙、図画用紙、防湿紙、ボンド紙、マーブル紙、チップボール、化粧板原紙、再生紙等を使用することができる。

【0059】

上下部シート39, 40どうしの固着、上部シート30に対する台紙49の固着、下部シート40に対するコア41の接合、台紙49に対する透水性シート73の固着、透水性シート73に対する弹性部材76の固着には、接着剤、または、ヒートシールやソニックシール等の熱による溶着手段を利用することができる。接着剤には、ホットメルト型接着

50

剤やアクリル系接着剤、ゴム系接着剤を使用することができる。

【図面の簡単な説明】

【0060】

【図1】パンツを破断した状態で示す着用物品の斜視図。

【図2】パンツの部分破断斜視図。

【図3】前域の側から示す排泄物収容パッドの部分破断斜視図。

【図4】後域の側から示すパッドの部分破断斜視図。

【図5】パッドから台紙と第2連結シートとを分離した状態で示す分解斜視図。

【図6】図4の6-6線矢視断面図。

【図7】図4の7-7線矢視断面図。

【図8】図1の8-8線矢視断面図。

【図9】図8の拡大図。

【図10】パンツを破断した状態で示す他の一例の着用物品の斜視図。

【図11】前域の側から示す他の一例の排泄物収容パッドの部分破断斜視図。

【図12】後域の側から示すパッドの部分破断斜視図。

【図13】パッドから第2連結シートを分離した状態で示す分解斜視図。

【図14】図10の14-14線矢視断面図。

【図15】図14の拡大図。

【符号の説明】

【0061】

20A 着用物品

20B 着用物品

21 パンツ

22 排泄物収容パッド

23 前脇周り域

24 股下域

25 後脇周り域

29 脇周り開口

30 脚周り開口

31 周縁部

35 第1連結シート

36 固定両端部

37 自由中間部

38 スリット(挿入部)

39 不透液性上部シート

40 不透液性下部シート

41 吸液性コア

42 前域

43 中間域

44 後域

45 第1開口

46 空間

47 第2連結シート

48 開口周縁部

55 固定内周縁部

56 自由前部

57 自由後部

58 フック部材(止着手段)

59 フック部材(止着手段)

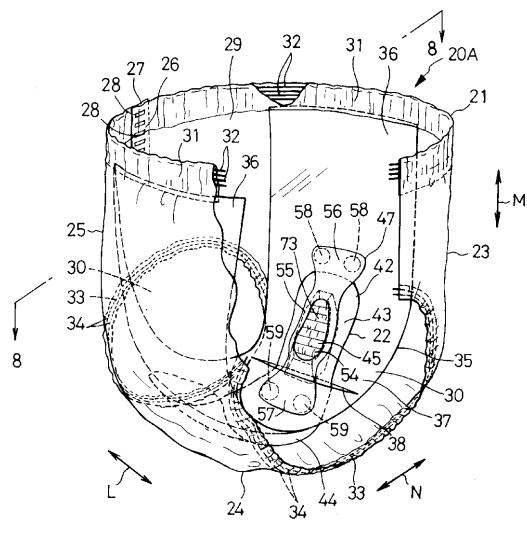
10

20

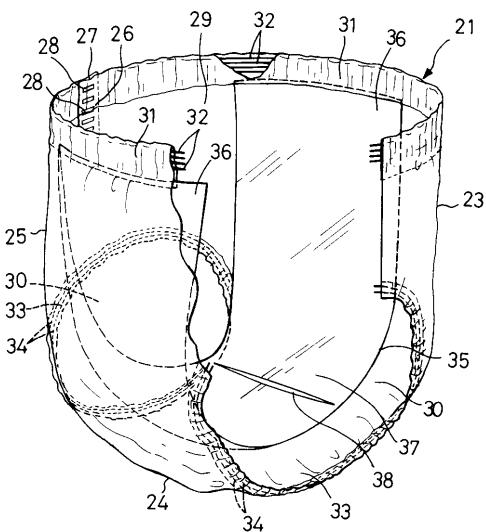
30

40

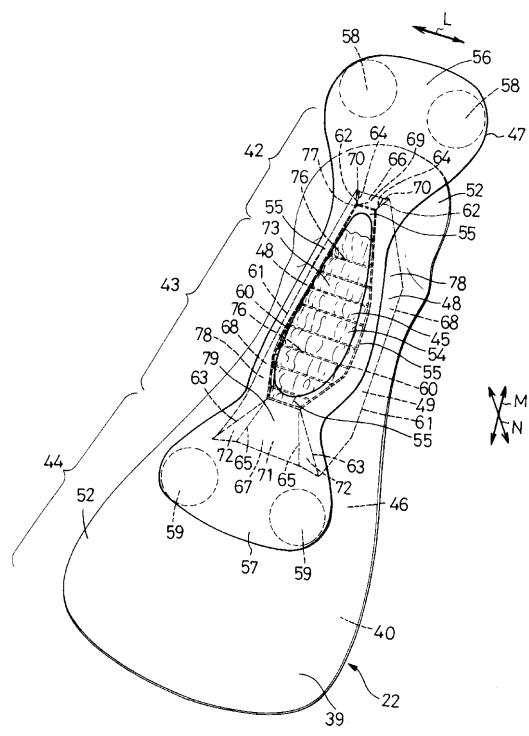
【 图 1 】



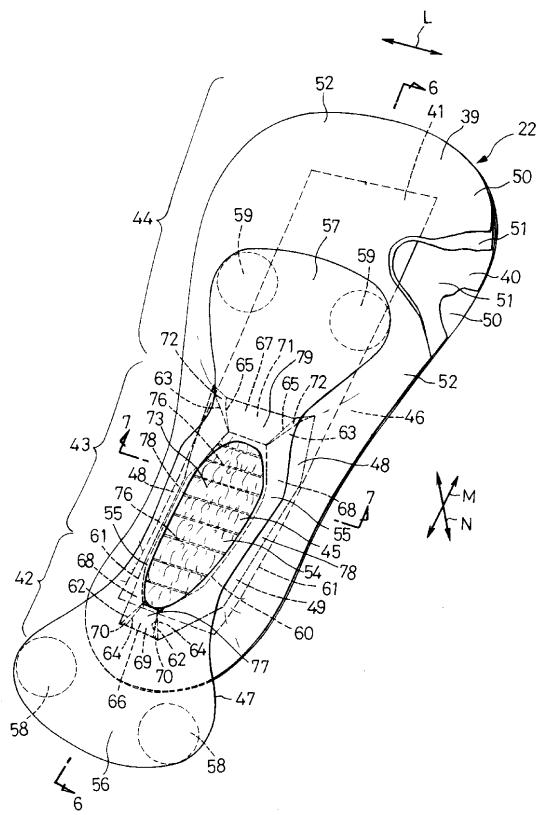
【 四 2 】



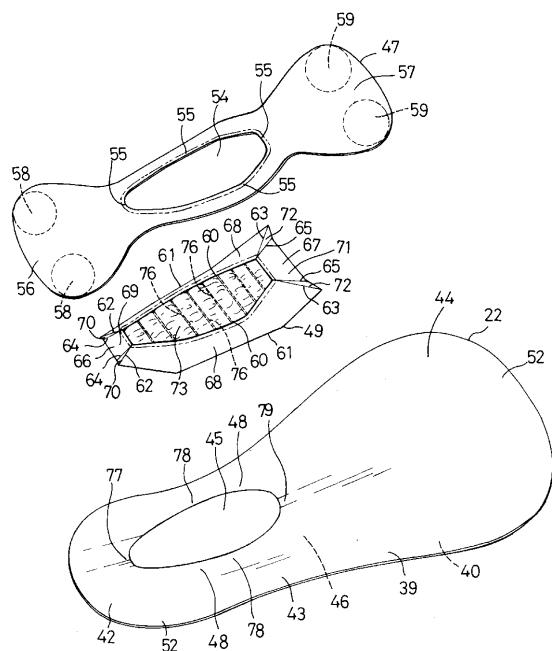
【 図 3 】



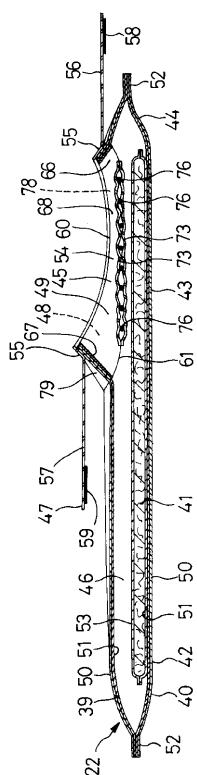
【図4】



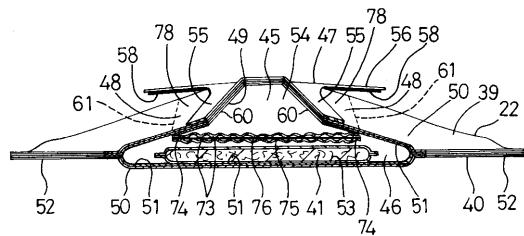
【図5】



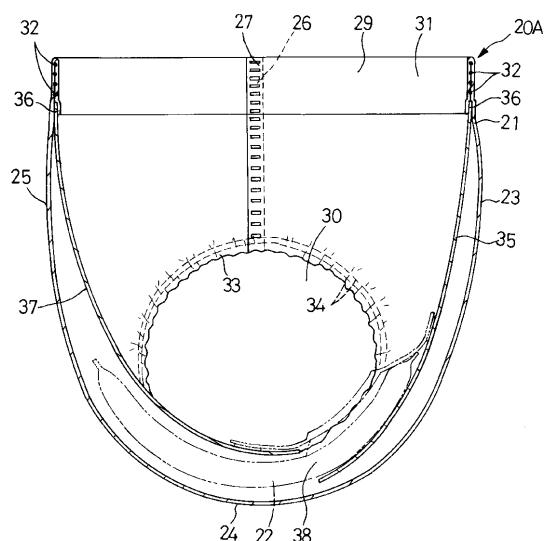
【 四 6 】



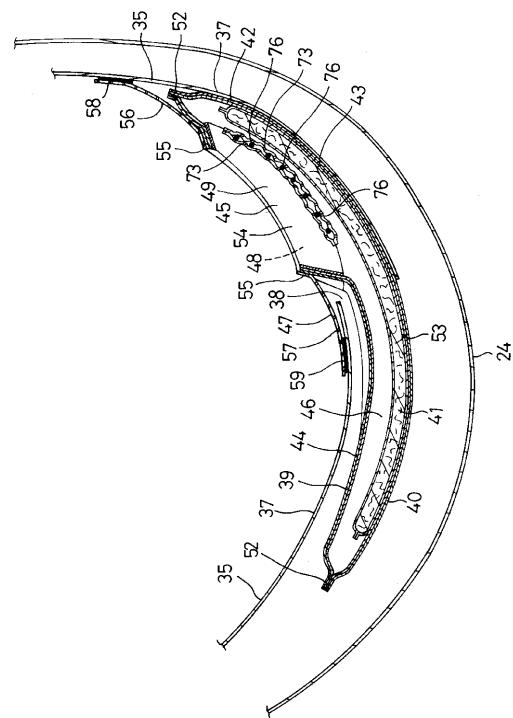
【図7】



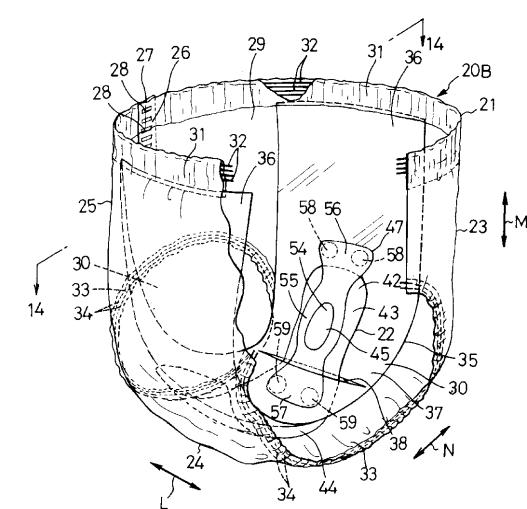
【 四 8 】



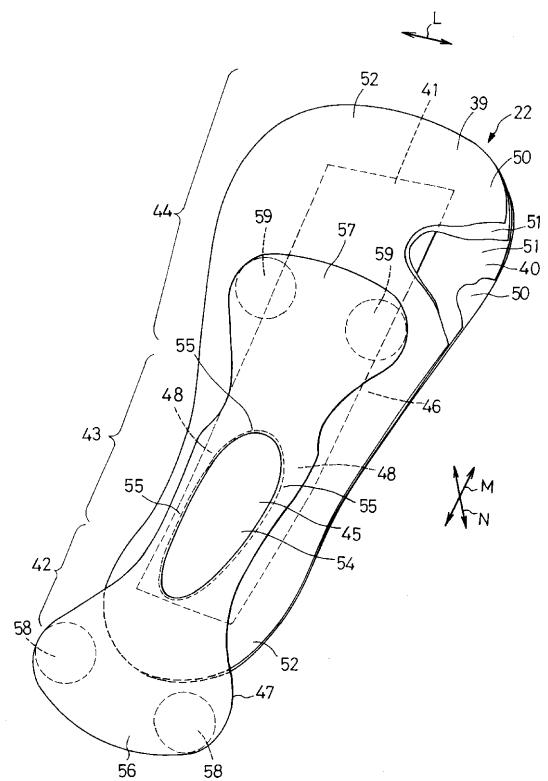
【図 9】



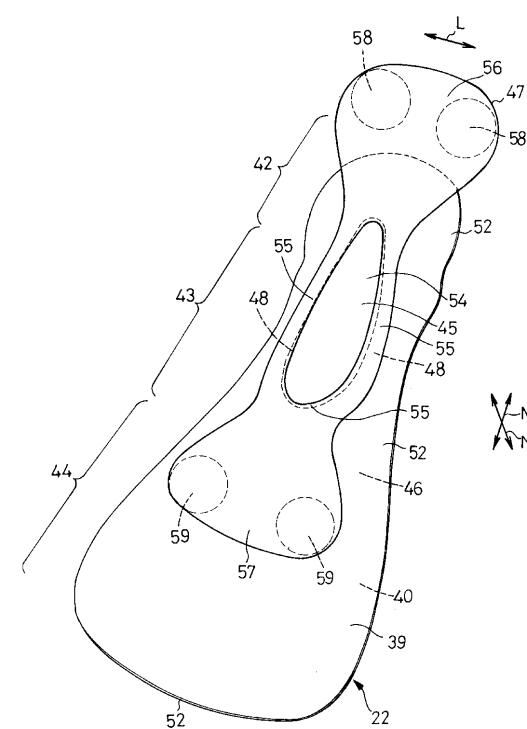
【図 10】



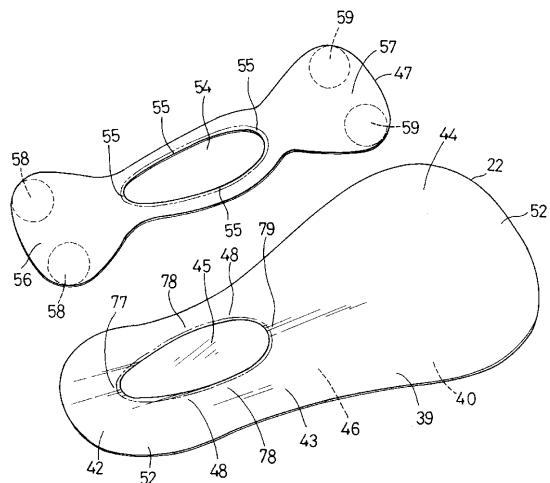
【図 11】



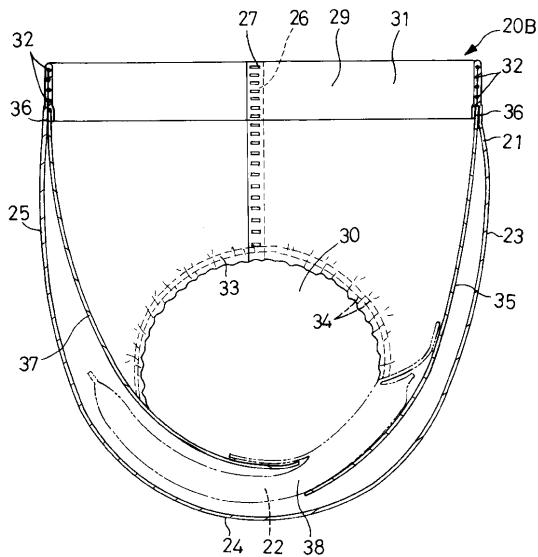
【図 12】



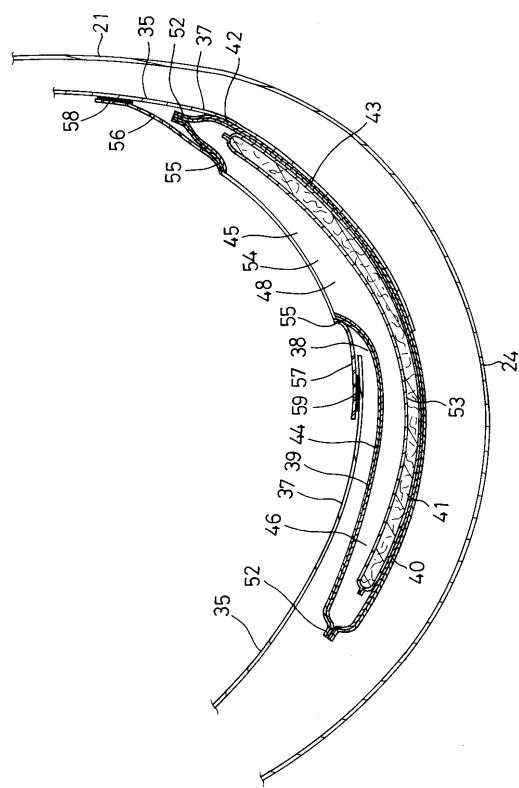
【図13】



【 図 1 4 】



【図15】



フロントページの続き

(56)参考文献 特開平09-075390(JP,A)
特開2002-301103(JP,A)
特開平10-192339(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
A 61 F 13 / 15 - 13 / 84